

**指定難病患者の方へ
見舞金を支給**
保健福祉課保健福祉係
☎22・7452
8月1日現在、市内に引き続き6カ月以上居住している指定難病患者、小児慢性特定疾病患者、人工透析療法を受けている方へ見舞金を支給します。
☎指定難病医療費受給者証、小児慢性特定医療費受給者証、特定疾患医療受給者証、特定疾病療養受給者証のいずれか、振込先口座を確認



お知らせ Information

いわき市民コミュニティ放送 (76.2MHz)
▶市政情報番組「いわきWith」
毎週月曜日 19:00~19:30
毎週金曜日 13:00~13:30 (再放送)
毎週土曜日 8:30~9:00 (再放送)
▶GOOD DAY いわき プラス
月~金曜日 7:45~12:10 (再放送)
ラジオ福島 (1431KHz・90.2MHz)
市政情報番組 毎週土曜日 8:55~
市政だより
福島放送 8月14日(土) 11:40~
9月11日(土) 11:40~
福島中央テレビ 8月21日(土) 9:25~
福島テレビ 8月22日(日) 13:55~
テレビユー福島 8月28日(土) 9:25~
シルミールいわき
福島テレビ 8月22日(日) 13:55~
※変更となる場合がありますので、広報広聴課広報係(☎22-7402)へお問い合わせいただくか、市ホームページをご覧ください。

原爆の日に黙とうを
総務課総務係
☎22・7401
①広島 8月6日(金) 8時15分
②長崎 8月9日(月) 11時2分
※8月16日(月)まで、市役所本庁舎1階市民ロビー、

できるものを持参し、各区保健福祉センター・支所(小名浜・内郷支所を除く)で
☎8月2日(月)~来年3月31日(木)
※直接持参が困難で郵送申請を希望する方は、市ホームページをご覧ください。

土のう袋・土砂を配布
河川課整備係
☎22・1159
本格的な大雨や台風シーズンを迎えるに当たり、希望する方に土のう袋と土砂を配布します。配布場所での土のう袋を作成し、家屋への浸水防止用として、活用してください。
※土のうは各自で作成・運搬・処分してください。
☎11月までの、第2・第4

小名浜・勿来支所、総合保健福祉センター、総合図書館、勿来関文学歴史館で原爆関連のパネルなどを展示します。



夏井川防災ステーション

金・土曜日
時金曜日は13時~16時、土曜日は9時~正午
所夏井川防災ステーション(好間町川中子字落合96-2)
対市内居住者
内1世帯当たり20袋まで
申配布希望日の前日までに同課へ☎か窓口で

今月の納期 (納期限8月31日(火))

市・県民税	第2期
国民健康保険税	第2期
介護保険料 (第1号被保険者)	第2期
後期高齢者医療保険料	第1期
個人事業税	第1期

いわき市の人口 330,322人 (-233)
人口と面積 男 162,142人 (-121) 女 168,180人 (-112)
世帯数 141,424世帯 (-22)
面積 1,232.26km²
令和3年7月1日現在/(前月比)
※令和2年国勢調査結果(速報値)に基づき変更した6月1日現在の人口・世帯数との比較。

※新型コロナウイルス感染症の影響により、中止・変更となる場合がありますので、事前に各担当へお問い合わせください。

リゾートーク 288

海をよく知るサーファーとして 地区に貢献したい



猪狩優樹さん
日本サーフィン連盟福島支部長。四倉地区でサーフショップを営む傍ら、サーフィン海上安全指導員としても活躍している。

Q 日本サーフィン連盟はどのような組織ですか。
A 日本サーフィン連盟はサーフィンの普及はもちろん、サーフィンを通じて海への関心を高め、健康な体の育成を図ることを目的に結成されています。サーフィンの大会参加者やライフスタイルとしてサーフィンを楽しんでいる方、そしてサーフショップの方が加盟しています。
Q 取り組みやその中で大切にしていることについて教えてください。
A 支部において柱となる取り組みは、大会運営です。七月九日から三日間、四倉海岸で第三十八回全日本級別サーフィン選手権大会を行いました。全国から約四百五十人の選手が出場し、大変白熱した大規模な大会となりました。大会の規模に関わら



多くのサーファーが参加した第38回全日本級別サーフィン選手権大会

ず、参加者や応援に来てくれた方が、楽しかったという良い思い出を持ち帰ってくれることが、いわきの海のファンを作ることにつながると思っています。そんな大会運営を続けていくことを大切にしています。
また、ビーチクリーン活動を行っています。サーファーと四倉地区の皆さんで年に数回、一緒に海岸のごみ拾いをしています。さらに、四倉海水浴安全対策実行委員会の委員として意見を交わし、サーファーと地区の方たちで行う海水浴場の見守り活動も大切にしています。海で過ごす時間が長いサーファーは、ちょっとした波の変化に良く気付きます。それを見守り活動に生かし、危険な行動の予防として声掛けなどを行っています。



地区の皆さんと行っているビーチクリーン活動

Q いわきの海やサーフィンの魅力は何ですか。
A いわきの海は年間を通して波がない期間がなく、全国的にも波の質が良いのが特徴です。また、大会が行われた四倉海岸は、砂浜が広いほかトイレ・シャワー・駐車場の設備が整っているため、イベントの開催にも適していて、サーファーの他に海水浴など海を楽しもうとする方にとっても魅力的な環境です。
サーフィンはボードさえあれば、始めたばかりの方でも、性別や年齢などに関わらず同じ時間を共有できる、仲間になれるスポーツです。海を知る者として、多くの方が、いわきのきれいな海でサーフィンや海水浴を楽しんでくれることが何よりもうれしいです。

お知らせ

市民のひろば

農地パトロール強化月間

農業委員会事務局農地調査係 ☎22-7574

農地利用の最適化を図るため、遊休農地の実態把握と発生防止などを目的に、11月までを農地パトロール強化月間とし、現地調査を行っています。

調査の際、農業委員や農地利用最適化推進委員が農地に立ち入ることがありますので、協力をお願いします。

いわき子ども環境賞コンクール
 環境企画課環境保全係
 ☎22-7441
 環境保全を呼び掛ける未発表の標語（1人3点まで）
 対小・中学生
 申込募用紙に必要事項を記入し、学校へ持参提出

生活援助サービス従事者養成研修の受講者など
 地域包括ケア推進課事業推進係 ☎27-8575
 ○生活援助サービス従事者養成研修の受講者
 日 9月27日(月)・28日(火)・30日(木) (全3回)
 時 9時30分～15時30分
 所 総合保健福祉センター
 対 市内居住者で、全日程を受講できる方
 定 10人(先着順)
 申 8月16日(月)からニチイ学館いわき支店へ電話(☎21-7898)またはファクス(☎21-7931)で
 ○世界アルツハイマーデー記念講演会の参加者
 日 10月3日(日) 13時30分～15時30分



期 8月25日(水)～9月6日(月)

お知らせ

本市就職者に奨学金返還の一部を補助

教育政策課総務係 ☎22-7540

次の要件を全て満たす方 ①大学、大学院、短大、高専、専修学校（修業年限2年以上の専門課程）、いわきコンピュータ・カレッジのいずれかに在学中で、本年度に修業年限以内で卒業・修了予定 ②日本学生支援機構第一種奨学金・第二種奨学金、市奨学資金、県奨学資金、いわきコンピュータ・カレッジ奨学金のいずれかの貸与を受けている ③卒業・修了の翌月1日から起算して、6カ月以内に市内事業所等に正規職員などで就職を予定 ④卒業・修了後、市内に定住することを予定

補/定 大学などに在学中、貸与を受けた奨学金の2分の1（上限153万6千円）/14人程度

申 同課、各支所・市民サービスセンターなどに備え付けの申請書に記入し、必要書類を添えて、〒970-8026 平字堂根町4-8 教育政策課へ（直接持参も可）

期 8月2日(月)～27日(金)消印有効

ゆずりあい 道路で示す 日本の美
 8月は道路ふれあい月間、8月10日は道の日です。道路を常に広く、美しく、そして安全に利用しましょう

所 産業創造館
 演 認知症と共に生きる
 講 丹野智文(おれんじドア代表)
 定 50人(先着順)
 申 同課へ☎で

期 9月1日(水)～24日(金)



修理再生品を提供
 クリンピーの家
 ☎56-3651
 日 9月11日(土) 10時抽選
 料 自転車2千円、家具3千円
 申 9月10日(金)までに同施設で

計量モニター
 計量検査所
 ☎23-4695
 対 市内に居住し、食料品を販売している商店などの関係者でない方
 任 10月13日～12月13日

募 集
 前回の修理再生品



いわき駅前市民サービスセンター・総合図書館・産業創造館
 いわき駅前市民サービスセンター ☎35-0666
 総合図書館 ☎22-5552
 産業創造館 ☎21-7570
 9月7日(火)は、ビル設備の安全点検に伴い、各施設を臨時休業します。不便をお掛けしますが、理解と協力をお願いします。



定 15人(応募多数時抽選)
 申 ハガキに「計量モニター応募」と明記の上、住所・氏名・生年月日・電話番号・勤務先または職業を記入し、〒970-1802 平字菱川町5-12 計量検査所へ
 期 8月31日(火)消印有効

お知らせ

行政相談
 広報広聴課広聴係 ☎22-7438
 行政相談委員が、行政に対する苦情や意見・要望などの相談をお受けします。

相談委員	電話番号
渡辺仁子(平)	☎22-1953
白土正衛(小名浜)	☎29-5541
有馬恵子(勿来)	☎62-2023
酒井一雄(常磐)	☎43-6665
斎藤信昭(内郷)	☎26-0679
安達空信(四倉)	☎32-2551
佐藤智春(小川)	☎83-0664
橋本一雄(好間)	☎36-3154

募集 市下水道事業等経営審議会委員
 生活排水対策室経営企画課経営企画係
 ☎22-7583 ☎22-7572
 keieikikaku@city.iwaki.lg.jp
 下水道事業などに、市民の皆さんの意見を反映させるため、同審議会の委員を募集します。
 対 8月1日現在、満20歳以上の市内居住者で、平日の日中に年3～5回程度開催する会議に出席できる方
 任 11月～令和5年10月
 定 2人(書類審査により選考)
 申 任意の様式に住所・氏名・年齢・性別・電話番号・職業および勤務先(現在就労していない方は略歴)を記入し「本市の生活排水処理に関する私の意見」を800字程度にまとめ、〒970-8686 生活排水対策室経営企画課へ(直接持参・☎☎可)
 期 8月2日(月)～31日(火)必着